

第 1 回 西口駅前広場検討部会（2014. 02. 18）での主な意見

分類	意見要旨	区の方考え方
検討の進め方	①デザインコンセプトの議論になる素材を提案してほしい。 ②専門家に相談して提案してもらったほうが良い。	●第 1 回目ということでフランクにお話しいただくため、検討資料は用意しませんでした。たたき台が必要ということであれば、専門家にも相談して次回以降素材を提供させていただきます。
デザインコンセプト	①デザインコンセプトの話し合いがないまま、具体的なデザイン案を出されても意味がない。東口は羽田の玄関口として整備して、それに合わせた駅前のデザインがあるが、西口をどのように考えるのか。	●デザインコンセプトの考え方が混乱していますので、定義を「西口駅周辺のまちづくりの方向性に合わせた駅前広場の整備内容」とします。 ●推進会議でまとめた蒲田駅周辺まちづくりの考え方を踏まえ、西口についてのまちづくりの方向性や全体デザインイメージを整理したうえで、今回の整備で、どのようなデザインにするのか検討していきます。
西口のまちづくりの方向性	①駅東西のイメージをどのように繋げるのか、前提として出てこないのはおかしい ②新空港線の動向もあるが、駅前広場をもう少し広げ、鉄道事業者も一緒になって東西通路の検討を行うことが必要。階段やエレベーターを使わずに東西の行き来ができるようにすべき。 ③シンボル道路を見直すのか、連携したイメージでどうつなげるのか。 ④川越などは看板や建物など統一したまちとなっているが、蒲田のまちでできるのか。トータルでやっていくためにはみんなが意識しなくてはならない。 ⑤商店街へ動線をどうつくるのか。広場をどう使うのかも議論しないでデザインを考えるのは難しい。ベンチや床の個別のデザインではなくトータルデザインでなければ意味がない。どのような駅前にしていくかという議論が必要。	①東西連絡の考え方は、再編プロジェクトの「駅前空間の全体構想」で中央自由通路、南側の東西連絡通路などについて示しています。 ②ある程度の拡張は必要と考えますが、単純な用地の取得は、駅周辺を構成する店舗への影響がありますので、例えば、建替えに合わせたセットバックなど、関係する方々の協力による拡張を検討していきたいと考えています。将来の駅ビル建替えに合わせた自由通路等の公共施設の確保については、引続き鉄道事業者と検討を進めていきます。また、階段等を使わずに行き来できる東西通路ということは、地上部での接続となりますが、検討の範囲には入っていません。 ③シンボル道路として整備した補助 37 号線は、バス乗車場辺りの歩道幅員が狭いため、歩行者空間の安全確保が必要と考えます。パブリックコメントでは、中央分離帯を撤去し、歩道を拡幅する案を提示しましたが、中央分離帯への愛着のあるご意見が寄せられ、区としましても、蒲田駅周辺シンボル道路は、景観計画で景観重要公共施設に指定しておりますので、地元の皆様のご意見を伺いながら、中長期で検討することとしました。したがって、初動期の整備では、シンボル道路の整備は考えておりません。 ④ご指摘のとおり、トータルデザインを決めても、行政が行う公共施設整備だけでは解決しません。周辺の建物、あるいは駅前広場を使う人のマナーなどが、西口のまちづくりの方向性に合致していくものと考えます。 ⑤商店街動線は歩車道の段差を極力解消し、一体的な整備を考えています。広場の使い方については、すでに開催しているイベント等を想定していますが、日常の運用については商店街を中心にアイデアを出し、区はどのような支援ができるか検討していきたいと考えています。どのような駅前にしていくかは、西口のまちづくりという括りで整理します。
西口駅前広場の現状課題	①交通島の六角形の植栽もフラット化が必要だ ②西口イメージとしては、たばこの吸い殻やベンチでのたむろなどマナーが非常に悪い。町会では美化活動に取り組んではいるが一向に減らない。行政任せもだめで、皆さん一緒にやっていくことが必要。	①再編プロジェクトの整備目的のほかに、現状課題として交通島のフラット化も必要と考えますので、今回の整備に含めて検討します。 ②綺麗に整備するだけでなく、広場を使う人のマナー向上も必要です。また、駅前広場を汚すことに躊躇するデザインはどのようなものなのかといった検討も考えられます。
西口駅前広場の使い方	①西口らしい歴史文化の交流・展示するイベントなどを広場でできたら活性化になるのでは。行政と我々で考えていけたらよい。 ②大人としてのまちなみを示して若人を受け入れる。広場については物産もあるが交流がテーマの一つ。クオリティがないとたむろして汚される。 ③広場は綺麗にして使うのが一番。学生も多いので若人の利用も含めて上手な使い方の企画や商店街と地域の人たちも交えた催しなど、蒲田のまちの PR を。	●広場の活用については、商店街など地域でアイデアを出していただき、区はそうした活動を支援していきたいと考えています。 ●広場などの基盤整備や周辺の建物の質を高めることもありますが、モラル、マナー意識を高めることも含めて、まち全体のクオリティにつながるものと考えます。
西口駅前広場の全体デザイン	①綺麗な広場であることが必要。にぎわいを持っていることが一番良いところ。まちは明るい基調が良いと思うが、専門家に出してもらったもので決めていかないと無理ではないか。 ②にぎわいとクオリティは両立する。それなりの格調と西口の歴史や良いところが感じられる設えに ③色を使わないとか明るくないほうが良いなど、専門家に相談して提案してもらったほうが良い。景観地域に指定されているのなら全体イメージをどうするか議論が必要。	●西口のまちづくりの方向性を整理した後、駅前広場全体の色調やイメージなどを検討していきたいと考えています。にぎわい、格調、クオリティ等の言葉に対するイメージは、人それぞれだと考えます。区と皆様で共通認識を持ち、それをデザインに反映できるように、具体的に素材提供を行いながら、検討を続けてまいりたいと考えております。
整備範囲外の扱い	①駅北側の自転車置き場付近も全体的なものとして考えるべき。	①線路側の通りについては、今回の整備範囲ではありませんが、中・長期の検討に合わせて一体的に考えていきます。
整備促進	①できるところから、予算化して進めていけば、皆さんも積極的に係わってくると思う。是非進めてほしい。 ②まちの色彩は行政の力と我々の自発的行動がなければできない。建物の色彩範囲、看板の大きさなど一定の規制をしみんなですべてで守ることでまちが良くなる。	①区としても同様に考えています。 ②ご指摘のとおり、公共施設のみを整備しても、目標には到達しません。周辺の建物の建替えルールを決めることやそれを守っていただくことが必要と考えます。